



SPACE Core V3 概要

最大20%のパフォーマンスが向上

V2よりさらにパフォーマンスが向上したスーパーチャージ NAS デリバリーエンジンは、業界を牽引する速度でSPACEストレージソリューションをさらに促進します。独自のNASアーキテクチャは、他のNASやiSCSIおよびSANにはないメディアアクセスと安定したパフォーマンスをイーサネット接続で提供します。

Avid ワークフロー

Core V3は、プロジェクト交換とAvidのビン共有を追加します。単一のSPACEボリューム内で複数の編集者がAvidのビンとプロジェクトを共有することが可能です。

ストレージの階層化 (Tier化)

性能に応じたストレージの階層(Tier)を明確化します。SSDによりボリュームが構成され最高の応答性を誇るSPACE SSDシリーズを"Super Tier1"、HDDベースで容量と速度のバランスを兼ね備えるSPACEを"Tier1"、そしてニアライン的な用途に適するEcho を"Tier2"、さらにLTOドライブを備えるSPACE LTO シリーズを"archive"と呼び、v3により実装されたオートメーション管理機能を用いて、ワークフローに応じSuper Tier1, Tier1, Tier2, archive、それぞれの階層(Tier)への適確なファイル格納を実現します。

AFP 対応

V3 より追加された AFP (Apple Filing Protocol)によるMacプラットフォーム用のシンプル且つ強化されたパフォーマンス。SPACEとMacを1GbEまたは 10GbE(900MB/sec超)接続することで驚くべきパフォーマンスを約束します。

ファイルマネージメント・ホットフォルダ

ファイルマネージメント機能を使用する事で、クライアントコンピュータを占有することなくSPACEシステムの間でコピー、移動、およびデータの分配を高速転送で行えます。また、ルールに基づいたデータの管理が行えるホットフォルダ機能も提供されます。

Active Directoryインテグレーション

SMBやAFPを利用して、SPACEをADに結びつけ、グループやユーザーをSPACEのワークスペースへ連携可能です。

セキュリティロケーション アップデート

従来のオンラインシステムアップデートだけでなく、USBアップデートによるオフラインアップデートに対応しました。

シングル インターフェイス

Core V3はWebブラウザあるいはVGAポートから操作可能です。

さらなるUPSサポート

GB Labsは、SPACEとUPSの同時システム運用を必須と考えており、新たにEaton製品が対応しました。今後も対応ライナップを増やして行く予定です。